

日本医学会だより

JAMS News

2016年10月 No. 56
日本医学会

◆日本医学会公開フォーラム

第21回日本医学会公開フォーラムは「乳がん—最新情報を知ろう—」をテーマに、12月24日(土)13:00~16:00、日本医師会館大講堂において開催する。組織委員長は、中村清吾昭和大学医学部乳腺外科教授。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会HP (<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載。

◆日本医学会シンポジウム

第150回シンポジウムは「肥満症」をテーマに、12月15日(木)13:00~17:00、日本医師会館大講堂において開催する。組織委員は、春日雅人、門脇孝の各氏。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会HP (<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載。

◆医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を9月2日(金)に開催し、平成28年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数：医学賞17、奨励賞34を審査した。

選考の結果、11月1日(火)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・2光子イメージングと光操作法による大脳シナプスの研究/河西春郎(東大疾患生命工学センター)
- ・日本における循環器疾患治療のエビデンス/小川久雄(国立循環器病研究センター)
- ・重症心不全に対する世界初の心筋再生医療製品「ハートシート」の開発/澤芳樹(阪大・心臓血管外科学)

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・遺伝統計学による新しい疾患ゲノム創薬の枠組みの構築/岡田随象(阪大・遺伝統計学)
- ・交感神経による適応免疫応答の概日リズム形成機構/鈴木一博(阪大免疫学フロンティア研究センター)
- ・大腸がん幹細胞の機能的な同定と新しい治療法開発/佐藤俊朗(慶大・消化器内科学)
- ・メタボリックシンドロームの病態形成における臓器間神経ネットワークの意義の解明と治療応用法の開発/宇野健司(東北大・糖尿病代謝内科学)
- ・HMG-CoA還元酵素阻害薬による移植心の冠動脈内膜肥厚抑制効果の解析/内山雅照(帝京大・循環器外科学)
- ・電算化データを用いた認知症・生活習慣病判定のアルゴリズム開発とダイナミックコホート研究への応用/山岸良匡(筑波大・公衆衛生学・生活習慣病予防・疫学)
- ・血管内皮の恒常性維持機構破綻がもたらす臓器線維化機構の解明/金崎啓造(金沢医大・糖尿病内分泌内科学)

- ・蛋白凝集に焦点を当てたアルツハイマー病の病態解明と予防・治療薬開発/小野賢二郎(昭和大・神経内科学)
- ・CDC42 変異により発症する新規疾患 Take-nouchi-Kosaki 症候群の病態解明/武内俊樹(慶大・小児科学)
- ・胃癌腹膜播種に対する特異的分子標的治療薬及びコンパニオン診断法の開発/神田光郎(名大・消化器外科学)
- ・難治性四肢潰瘍患者を対象とした新世代型血管・組織再生治療の開発/田中里佳(順天堂大・形成外科学)
- ・婦人科がんにおけるがん免疫逃避機構の解明と新規治療法の開発/濱西潤三(京大・産婦人科学)
- ・副腎性クッシング症候群における新規腫瘍マーカーの臨床応用/前川滋克(東大・泌尿器科学)
- ・精子幹細胞の分化メカニズムの解明と男性不妊症治療への臨床応用/水野健太郎(名市大・腎・泌尿器科学)
- ・緑内障の房水に含まれるサイトカイン可溶性受容体が緑内障病態および緑内障手術成績に与える影響の検討/井上俊洋(熊北大・眼科学)

◆日本医学雑誌編集者組織委員会

第18回日本医学雑誌編集者組織委員会を8月31日(水)に開催した。

当日の議題は、(1)一般社団法人学術著作権協会の活動、(2)第8回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第8回シンポジウム、(3)アジア太平洋地域医学雑誌編集者会議 APAME2016(バンコク)報告、(4)医学雑誌編集ガイドライン、(5)日本医学会利益相反委員会活動報告、等である。

黒川 恵学術著作権協会事務局長並びに金山伴子学術著作権協会事務局長総務担当より、一般

社団法人学術著作権協会の詳細な活動報告が行われたほか、余頃祐介科学技術振興機構(JST)知識基盤情報部研究成果情報グループ主査より、JaLCにおけるDOI登録の概要とオープンサイエンスへの対応状況等についての説明がなされた。

また、平成29年に開催予定の第8回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第8回シンポジウムのプログラム案についても、意見交換を行った。

その他、8月26日(金)～8月28日(日)に開催されたアジア太平洋地域医学雑誌編集者会議 APAME 2016(バンコク)の報告が行われた後、曾根三郎日本医学会利益相反委員会委員長より、日本医学会利益相反委員会活動報告として、「日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス」の作成と「日本医学会 医学研究のCOIマネージメントに関するガイドライン」の改定等について、進捗状況の説明がなされた。

◆移植関係学会合同委員会

第34回委員会は審査の迅速化をはかるため、委員会を開催せず持ち回り開催とした。審議事項は移植実施施設の認定で、以下の施設が新たに認定された。

肝臓移植実施施設：福島県立医科大学

膵臓移植実施施設：長崎大学大学院 移植・消化器外科

◆医学用語管理委員会

第16回委員会を9月29日(木)に開催した。主な議題は平成28年度日本医学会分科会用語委員会について等である。分科会用語委員会は12月5日(月)15:00～17:00、日本医師会館小講堂で開催することが決定した。ICD-11について、厚生労働省ICD室の方から講演をいただくほか、5演題を予定している。